

雑 報

蔭山公雄博士祝賀会

本誌前号所載の蔭山公雄博士の祝賀会を近畿在住同窓有志主催で5月13日午後4時から大阪市北区梅田新道ミュンヘンで開催した。

先ず発起人を代表して森太郎氏より博士が実際酒造と取組んで立派なる成果を挙げられた事を称揚し斯業界に貢献する所多きを謝する旨の挨拶があり、蔭山博士より自分は全く環境に恵まれたためであると謙遜し、社長が研究に理解あるのみならず率先して援助し助言を受けた事や恩師先輩の指導と同僚の協力に依つたもので寔に感謝に堪えぬ今後一段と精励し以て夫等の恩恵に報いたい覚悟であると述べ本席の好意を感謝すると謝辞があつた。次で照井教授より論文審査の主任としての意見と感想を述べ立派な論文であると賞揚、斎藤会長から今後も研究を継続し大成する様にと激励の言葉があり先ず杯を挙げて博士の栄誉を祝福す。宴中服部保綱、森田治利両氏が交々立ちて博士の人格を賞揚し先輩として欣慕敬服の情を吐露する等と和氣霽々裏に岩井副会長の発声で博士の万歳を3唱し午後6時散会した。当日の出席者次の如し(順序不同)

主賓 蔭山公雄博士

出席者 斎藤賢道、岩井喜一郎、荒木小市郎、江夏敏郎、橋本虎男、服部保綱、橋田度、樋口楠太郎、堀一郎、石井隆一郎、市川邦介、池田潤平、加賀山孝、嘉納芳治、久米川英世、黒谷泰彦、金野範之、松本博、松山正宣、三輪谷淳三、箕浦久兵衛、三崎旭、武藤始太郎、村山忠治郎、森太郎、森田治利、野々口辰夫、岡崎義一、岡田弘輔、清水敏雄、芝崎勲、佐瀬勝、白樫政一、高岡研一、高岡祥夫、田口久治、照井堯造、上田隆蔵、脇阪清彦、安田篤二郎、吉賀晋、米崎治男、土田盛一、

第15回 醱酵学懇話会

首題の会を5月20日午後1時より麒麟ビール尼ヶ崎工場で開いた。当日は生憎朝来降雨で出席率を懸念されたがそれでも60数名の参加者であつた。定刻を少々遅れたが3班に分れて工場を案内され終つて午後3時から下記両氏の講演があつた。

1. Continuous flow system による培養研究

阪大工醱酵 佐 瀬 勝

1. 酵母の細胞膜について

麒麟ビール科研 黒 岩 芳 郎

尚講演終了後午後4時過ぎより懇親会に移り同社の好意によりビールの歓待を受け午後5時半散会した。当日の幹旋と配慮を受けた同社の深見氏其他に深謝す。

北陸三県醸造同窓懇親会

回を重ねる事3回、今年は富山県が当番で5月18日(土)宇奈月温泉延対寺荘で開催され本会より土田専務理事が参加した。未だ山腹に雪を抱えた黒部峡谷の起点である宇奈月もこゝ1両日前からの暖かさで漸く春めいた感がありと言われ一同を嬉々として迎えるが如き良い天候に恵まれた。

会する者12名旧知の間柄で挨拶もヤアヤアで清冽な温泉に旅塵を流し午後6時より開会した。地許幹旋者として伊夫伎氏より挨拶あり土田専務理事より学会や母校の近況報告ありて開宴和氣霽々三更に及び一同寝を共にし翌19日散会した。地許の吉田義寧氏の吟造酒「吉の友」を寄贈され種々幹旋の労を煩わした事を深謝致します出席者は次の通りである(略敬称)

福井県 竹内伊三郎、水野義太郎、増永伊太夫、

柳 沢 静、片山一郎

石川県 米村一郎、高川昇蔵

富山県 伊夫伎房太郎、吉田義寧、吉田伝平、

根井邦二

大阪府 土田盛一

国税局鑑定官室長の異動

渡辺八郎氏(東京)、武藤始太郎氏(大阪)、川崎義徳氏(福岡)。各鑑定官室長の辞任にともない下記の如く9国税局鑑定官室長の異動が5月15日附で発表された。

() 内は旧職

東京局 有 松 嘉 一氏(広島局)

大阪局 田 上 勝氏(名古屋局)

札幌局 鈴木不二雄氏(仙台局)

仙台局 奥 田 教 広氏(札幌)

名古屋局 畑 生 道 雄氏(仙台局)

広島局 道 中 久氏(高松局)

高松局 木 村 輝 治氏(広島局)

福岡局 上 野 信 一氏(熊本局)

熊本局 熊 谷 秀 逸氏(福岡局)

誤正御ことわり

本誌前号(第35巻第5号)207頁の計報江田鎌治郎氏の年令68才とあるは86才の誤りにつき訂正す。